



【学校教育目標】 ふるさに誇りを持ち、心豊かにたくましく未来を切り拓く子の育成  
 ～ 学習がすき 友達がすき 自分がすき ～

# 南比都佐小だより

日野町立南比都佐小学校

令和元年10月号

温かいご声援ありがとうございました

校長 小椋 慶洋



今年の運動会は雨の中の開会となり、ご参加いただいた保護者の皆様、地域の皆様、ご来賓の皆様には大変ご不便をおかけしました。ラジオ体操や全校応援合戦、下学年のダンス、上学年のダンスと組体操などを体育館で発表した後、グラウンドコンディションをみて屋外での徒競走へとプログラムを進めるといった変則的な形をとりましたが、おかげをもちまして、予定していたプログラムのほとんどを実施することができました。皆様のご理解とご協力のおかげ

であると、深く感謝申し上げます。そして、何よりも、子どもたちが一つ一つの競技や演技に真剣に取り組んでくれた姿勢が、今年の運動会を盛り上げてくれました。台風の影響による天候の状況が読みづらかったため、ベストな形ではありませんでしたが、ベターな形で実施できたのではないかと思います。大変強い印象が残る運動会でした。



さて、話題は変わりますが、今年も9月の中旬に6年生と保護者の方々に全国学力・学習状況調査（4月実施）の結果の概要をまとめた資料と国語・算数の個人票を返却しました。調査結果から、本校児童の「強み」と「弱み」として、今年のような傾向が見られました。

強み	弱み
<ul style="list-style-type: none"> <li>国語でも算数でも文章や式を使って丁寧に説明する記述式の問題がよくできている。</li> <li>学級の友だちと話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり広げたりする学習、コンピュータなどのICTを活用した学習に良く取り組んでいると回答した児童が多い。</li> <li>読書の習慣が定着しており、読書にかかる時間が県や全国と比べてもずば抜けて多い。</li> <li>家庭学習の習慣が身に付いており、家で自分で計画を立てて勉強していると回答した児童も多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「対称」「対象」「対照」のように音が同じで意味が違う言葉の使い分けなど、実生活で使いこなす言葉の力が弱い。</li> <li>「6+0、5×2」など、4年生程度の基礎的な計算の誤答が多く、以前に学習したことを忘れてしまっている単純なミスが多い。</li> <li>失敗を恐れず挑戦する、将来の夢や目標を持っているなどの設問で肯定的な回答が少なく、自己肯定感がやや低い。</li> </ul>

6年生だけの結果ではありますが、全校の子どもたちにも言える傾向が現れているように思います。職員室では、以前に学習したことがしっかり定着しないまま、十分に使いこなせるまで鍛えられていないのではないかと反省をし、一人ひとりの学力向上を目指して、より質の高い学習指導を行っていかうと話し合っています。

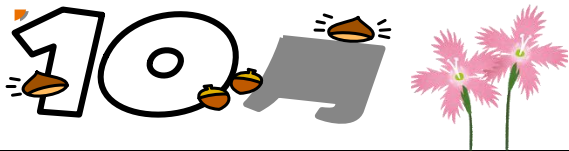
このことについての少し詳しい資料を、南比小ホームページのトップページでも紹介しています。もしよろしければご覧ください。

南比小ホームページでは、学校行事や子どもたちの学校生活の様子を日々紹介しています。

南比小

検索

PC、スマホ、タブレットなど、各種端末OK!



1	火	視力検査①3年②4年
2	水	③④1～3年 誉の松さんとの交流 視力検査①5年②6年
3	木	5年 社会見学
4	金	PTA本部会
5	土	
6	日	町民運動会
7	月	⑥クラブ活動
8	火	6年 日野町合同体育祭
9	水	校内研 6校時カット
10	木	PTA交通立番
11	金	
12	土	
13	日	
14	月	体育の日
15	火	集金日
16	水	
17	木	
18	金	1, 2年 社会見学 PTA総務会
19	土	滋人教研究大会
20	日	滋人教研究大会
21	月	校内マラソン大会練習開始 わかば社会見学
22	火	即位礼正殿の儀の行われる日
23	水	3, 4年 社会見学
24	木	
25	金	
26	土	氏郷まつり
27	日	氏郷まつり
28	月	
29	火	
30	水	③④1, 2年 ふれあい学習
31	木	県教委学校訪問 6校時カット



## 通学合宿 & 町総合防災訓練



公民館で夕食の準備をしています。ボランティアの皆さんにお世話になりました。



運動場での放水訓練！



南比小にはプールの水を生活用水に変える装置があります。

8月30日から9月1日にかけて通学合宿があり、最終日の9月1日には町の総合防災訓練が南比小で実施されました。日本列島は地震が非常に多い地域であり、今までに多くの被害がありました。日野町でも強い地震があったことが記録に残されています。「天災は忘れた頃にやってくる（寺田寅彦）」という警句があります。過去の災害を教訓に、普段から命を守るための備えをすることが大切です。